

第122号

NPO法人建築Gメンの会
〒142-0052
東京都品川区東中延1-4-17-202
発行責任者：理事長大川照夫
TEL 03-6426-1350
FAX 03-6426-1351
E-Mail jimukyoku@kenchiku-gmen.or.jp
Homepage URL
<http://www.kenchiku-gmen.or.jp/>



- 大川理事長挨拶……………1
- 新任理事の抱負……………2
- 新建築Gメンの紹介……………2
- 新入会員の意気込み……………3
- 事務局からのお知らせ……………3
- 事例欠陥建築集……………4

理事長挨拶 2013年度の 活動開始にあたって

理事長 大川 照夫



当会は、二〇〇〇年三月に活動を開始して以来、すでに十三年が経過しています。五月二十五日の定例総会と六月八日の理事会を経て、新しい執行体制の下、十四年目の活動が始まりました。

新しい執行体制とは言っても実態はほとんどが留任で、特に変わり映えするものではありませんが、「継続は力」と言い聞かせて、皆で力を合わせて欠陥建築をなくすための活動を続けてまいりたいと思えます。

昨年度から始めている役員の当番制による相談受付では、欠陥で悩む消費者が絶えることはなく、次々と生まれている事が、また、中には、当会の存在を知らず、有効な対抗

策を見いだせないまま、供給者側との闘いに疲弊する消費者も存在していることがうかがい知れます。

会の存在に関する宣伝の一層の必要性を感じるところです。

会の存在の宣伝のあり方の改善については、数年来の課題でありましたが、ホームページの改編をはじめとして徐々に取り組んでいく予定であります。

ここ一二年話題を博した偽建築士に限らず、いい加減な供給者は後を絶ちません。

まともな生産体制を取らずに、二重三重の下請け制度のもと、利潤追求のみにエネルギーを費やすハウジングメーカーもあって、不良建築の供給が続けられている実態を垣間見ることも珍しくありません。

私たち建築Gメンが持てる力を発揮すべき場面は、いたるところに展開していると見定めて、当会が掲げている目的「我が国から欠陥建築をなくし、欠陥建築で悩む人を救う」ことのためにまい進していきたいと思います。

以上

一緒に活動しませんか！

● 会員の種類	● 年会費
正会員	----- 24,000円
消費者正会員	----- 12,000円
一般会員	----- 6,000円
団体一般会員	----- 48,000円

※ご入会の際は入会申込書が必要です。
事務局までご連絡ください。



会員の種類：

正会員、消費者正会員、一般会員、団体一般会員の4種あります。「義務と権利」、「会費」が異なります。

▽正会員

「正会員」は、会の中核を担う存在で、総会の議決権を持ち、会の目的達成のために必要な活動をし、会の運営に携わるものとします。相談・調査等の業務を行う建築Gメンに登録するためには「正会員」である必要があります。

▽一般会員

「一般会員」は「正会員」に比べ賛助会員としての性格を帯びています。もちろん積極的な参加もできますが、イベント参加や情報提供だけで良いという方向けのものです。会社など団体で登録される場合は「団体一般会員」となりますが、会社の責任者が別途正会員になる必要があります。また、団体一般会員であることを宣伝したり、名刺等に表記できません。

新任理事の抱負

理事 大川 堅人



この度理事に任命されました大川堅人と申します。私は七年前に入会し、三年前に建築Gメンの認証を受けることができました。私自身、一度は諦めていた建築Gメンとして活動できることは、遠隔地でのビデオ研修会の実施や自宅で認証試験が受験可能な制度に改められたことや藤井前理事に熱心に誘っていただいたおかげと感謝しております。

私は建築Gメンの会に入会してから、七年間の会報「楔」や研修会を通じて得ることができた情報が自身の糧となっています。電話相談者への説明にも役立つ内容も多く自信になっています。自分自身が思

い違いをしていたことで、目から鱗が落ちるような情報も何度かあり、毎号勉強させて貰っています。

理事に任命されたあと、最近の「楔」をザックリですが目を通しましたところ、気になる文責がありました。私の今後の目標と考え、一部の抜粋ではありますが紹介します。一つは楔第八五号の浅賀さんの文責「建築Gメンの業務も、もちろんボランティアですが、会員の努力・慈善のみでは会員もやがて疲弊し組織の存続も困難になるだけです。もちろん組織の存続のみを自己目的とするものではありませんが、業としての成立もさせていけない限り組織の長期存続は困難ではないでしょうか?・・・略・・・新任Gメンが会と自分の将来について少し考えさせていただけます。もう一つは楔第七五号の藤井前理事の文責「建築Gメンの会がこれからの十年、さらにそれ以降も継続して活動できるようにするためには、組織の裾野を広げることが必要不可欠だと思っています。また、それは単に組織のためだけではなく、建築Gメンの会が欠陥住宅問題

に取り組んでいる団体の中で一番良い団体であるという思いがありますので、各地で住宅問題に悩む方々とのつながりをつくること社会的にも意義があると思えるからです。」。浅賀さん、藤井さんの提言は建築Gメンの会のキャパシティをもう少し広げることで実現できるように考えます。いまホームページのリニューアルが予定されています。それに合わせて消費生活センター等へのアプローチを計画したいと思っています。

今回、新しく建築Gメンになりました佐賀県唐津市の峯正浩と申します。

建築設計事務所を開設して十六年目になります。

現在は木造住宅の設計監理及びコンストラクションマネジメントを中心とした業務を行っています。

また、瑕疵担保保険の検査員や住宅性能評価員など住宅に携わる業務も行っています。

建築Gメンになり、より一層、正しい判断でより良い建築ができるように自分自身のスキルアップをやはり努力して行きたいと思っています。

また、建築Gメンとして恥じることはない様に頑張っていきます。どうぞ、よろしくお願い致します。

新建築Gメンの紹介

建築Gメン 峯 正浩



新入会員

入会の意気込み

今出 浩司



今年五月に入会させていただき
ました今出浩司と申します。

入会の動機は欠陥建築の問題に
悩む人の助けに少しでもなれば
幸いとの思いが基本にあるので
が、私自身は技術的問題点を探り、
それを見つけ出し、その対策や解
決方法を策定することに興味があ
りましたので当会に入会を希望し
ました。
私の今までの経歴は建材メーカ
ーでの製品の力学的試験や施工試
験、施工方法検討など、また設計事
務所運営(一番長い)、品確法の検査
業務(受託)等です。

今回初めて欠陥建築の問題に正
面から取り組むことになった訳です

ので、自己の今までの経験も生かし
つつ、当会の諸先輩の貴重な経験を
学ばせて頂き、また疑問点を問い掛
けるなどして積極的に自己の問題
解決能力の向上に努めたいと思
います。

またその様なことが出来ること
が当会の最大の強みかと考えてい
ます。

なお当会の標榜する「第三者検
査」を実行するには客観性の高い文
献やデータを基本にして施工者に
理解していただける説明をするこ
とが必要ですので、普段から文献の
調査・研究には心がけたいと思いま
す。そのことが問題解決を早めるこ
とに繋がれば建築主(建物所有者)
の利益も大きいのではないかと思
います。

それでは今後共、当会利用者や当
会会員の皆様と共に歩んで行くつ
もりですのでご指導ご鞭撻の程よ
ろしくお願いいたします。



事務局からのお知らせ

□ イベントのご案内

2013年度第1回研修会のご案内

▽日時 2013年7月27日(土)

13時30分～16時45分

▽場所 品川区立総合区民会館

(きゅりあん) 5階第4講習室

▽交通 JR/東急線 大井町駅前

▽講演内容

一時限

「エネファーム設置の

施工と注意事項」

講師 東京ガスご担当者

二時限

「報告書の書き方と事例研究」

講師 大川照夫(当会理事長)

▽参加費 会員四千元

▽主催・問合せ 建築Gメンの会

TEL (03) 6426・1350



□ 会報作成協力をお願い

会報作成作業にご協力いただけ
る会員の方がいらつしやいました
ら、事務局までご連絡ください。

〈編集後記〉

本号は2013年度開始にあ
って、大川理事長はじめ、新任理事、
新建築Gメン、新入会員の方々の
揆を頂きました。

執筆皆様の熱意に感化され、欠陥
の無い住宅を100%にするのは
永遠のテーマですが、少しでも近づ
きたい願望と努力を今一度思考し
行動に移したいと思いました。

古屋敷 直樹



□ 実例欠陥建築集・木造編

次ページに、当会の10周年記念事
業として作成した「実例欠陥建築集・
木造編」の一部を、掲載いたします。
今後順次掲載いたします(紙面の都合
による不定期掲載)。



基礎(布基礎)

01003

基礎のひび割れ

年度	1998年完成(2008年調査)
場所	千葉県八街市
構造	木造在来軸組工法
階数	2階
延べ面積	119 m ²
用途	一戸建ての住宅

瑕疵の特徴

1. 基礎立上り部分の入隅にひび割れが生じている。当該ひび割れは表面的なものではなく、基礎を貫通しており、クラックスケールでの最大測定値(幅 1.4 mm)をはるかに超えるひび割れである。
2. 住宅紛争処理の参考となるべき技術的基準における「基礎のひび割れ、構造材による仕上げ」のレベル3「幅0.5 mm以上のひび割れ」・「構造耐力上主要な部分に瑕疵が存する可能性が高い」に該当する。



解説

この個所は約 60 mmもの不同沈下を起こしている変形傾斜(変形角)の起点であり、変形角 15.9/1000 という変位・変形に起因している。この位置から布基礎が完全に折れている。構造的許容上限値については、小規模建築物基礎設計指針 10.2 節(基礎の修復)2(3)を参照。